

祝！東北大会出場

角高だより



5月20日(水)～6月8日(月)の期間、県内各地にて宮城県高等学校総合体育大会が開催された。キューアンドエーススタジアム宮城で開催された陸上競技では、女子円盤投げに出場した渡邊乃彩が自己ベストを更新し、第5位で東北大会の出場権を獲得した。

東北大会は6月13日(土)に行われ、東北地区で23位の成績を収めた。大会を振り返り、「悔しい結果に終わった。次は後輩に技術継承をしたい。3年間を通して成長させてくれた顧問の今井先生には感謝しかない」と渡邊は語ってくれた。



サッカー部ベスト32！

チーム一丸となり
果敢に挑んだ三日間



5月23日(土)、角高サッカー部は松島フットボールセンターで巨理・鹿島台商・小牛田農合同チームと初戦を迎えた。結果6-0で圧勝、翌日の中新田にも4-0で快勝した。

翌週30日(土)、セイホクパーク石巻をかけた昨年度県新人戦3位の東北学院と対戦した。チーム一丸となり全員で奮闘するも、勝利には届かず0-1で惜敗した。1年次から3年間部長を務めた熊谷悠月は、「最後の1年頑張ろうと声を掛け続けて練習に励んだ結果、3回戦まで進めた。このメンバーでサッカーができて幸せだった」と語った。



7月9日(木)、甲子園へと繋がる第108回夏の宮城大会が開幕する。学校、保護者、地域の想いをのせた全力プレーに期待したい。初戦は加美農業高校と対戦する。

夏の高校野球 7月9日開幕



6月10日(水)に行われた総体報告式では、各部長が登壇し、総体の結果報告、3年間の活動への感謝、また下級生へのエールを送った。その後、総体で入賞した生徒らへ校長より賞状授与式が執り行われた。



部活をやり抜いた3年生を労うとともに、希望進路に向かって励む姿にエールを送りたい。

角田市の「梅」を将来も受け継がれる特産品に！

角田高校では、総合的な探究の時間（角高夢 Project、通称夢Pro）にて、各々がマイテーマを設定し課題解決に向けて探究学習を行っている。角田市からは、「角高から角田を元気に」を合言葉に、角高生が幅広く探究活動ができるよう支援をいただいている。

3年次の大友美怜は、「角田産の梅を小中学生に広めるには」を探究テーマとし、「角田市の特産品である梅について「知っている」から「食べたこと」がある」を目標

に1年半の探究活動を行ってきた。

角田市給食センターとの研究を重ね、角田産の梅を用いた梅ソースを考案した。成果として、6月16日（火）、「とり肉の梅ソースかけ」が市内の小中学生の給食で提供された。大友は「梅が苦手な子供にも食べられる味付けを工夫した。地元の食にもっと興味をもってもらえたら嬉しい」と角田市の特産品への想いを口にした。



↑実際に提供された給食



< 県総体主な戦績 >

男子バドミントン

団体戦 ベスト16
 個人戦 三浦大要・庄司陽翔 ベスト32
 佐々木流星・我妻夕日 ベスト32
 佐々木流星 ベスト32
 我妻夕日 ベスト32
 西多永羽 ベスト32

女子バドミントン

個人戦 内山佳澄 ベスト32

陸上競技

円盤投 渡邊乃彩 第5位
 東北大会出場権獲得
 5000m競歩 作間心春 第6位
 200m 阿部彪雅 準決勝進出
 400m 阿部彪雅 準決勝進出
 200m 鈴木りのあ 準決勝進出

剣道

男子団体 予選リーグ通過
 決勝トーナメント1回戦敗退

弓道

女子団体 準々決勝敗退

WELCOME TO KAKUDA H.S.

オープンスクール参加者募集

毎年夏と秋に開催しているオープンスクールを今年も開催する。受験生である中学3年生とその保護者を対象とした説明会ではあるが、もちろん中学1、2年生も参加可能だ。本誌を読んで角田高校での学生生活に興味をもった中学生、保護者の参加をお待ちしている。当日希望のある方は部活動の見学も可能。この機会に、高校の雰囲気を目で見て触れて、五感を使って感じていただきたい。

日時：令和8年7月27日（月） 9時～12時

会場：角田高校（全体会、部活動見学）

対象：中学3年生および保護者

希望があれば1、2年生も参加可能

内容：説明会（教育課程・進路状況等）

学校紹介（学校生活・学校行事）

生徒パネルディスカッション

部活動見学 ※希望者のみ

申込：7月1日～7月20日まで受付。

詳細は本校ホームページをご確認ください。

角高生の学びをご紹介します ～編集者からのちょっと一言～

こんにちは！今月も角高だよりをご覧いただきありがとうございます！

今月は、部活を引退し、勉学に気持ちを切り替えて頑張る3年生との学びをご紹介します。先日の生物の授業で、“生態系と食物連鎖”に関連づけて、昨今話題となっているクマの出没と緊急銃猟について考えてみました。生徒の中には、クマを緊急銃猟することでクマが捕食していたシカなどの生物が増加し、それらの駆除に追われるのではないかと、とのコメントがありました。実に面白い視点で、クマ駆除の一方で、また別の問題に直面してしまうという、人間と生態系の関連性に気づけた機会だったかと思えます。

クマに襲われる人間が被害者なのか、人里に出没せざるを得なくなったクマが被害者なのか。つまり、人間の営みが生態系を壊し、そのような環境を作ってしまったのか。高校での学びを通して、広い視野をもって多面的に物事を考える力を養ってほしいですね。

（文責：井上）

